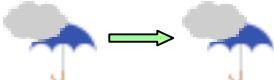
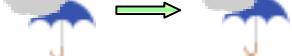
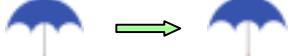
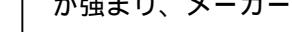
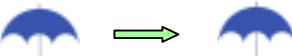
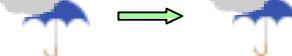
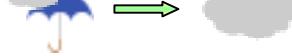
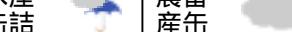
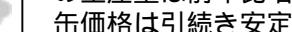
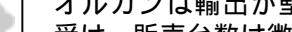
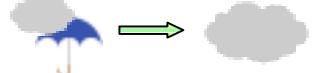


## 【産業動向概要】

<b>産業全体</b> 	<p>10年11月を中心とした県内経済は、輸出の勢いに一服感が窺われ、生産活動は、持ち直しの動きが続いているもののやや増勢に陰りが出てきている。一方で、雇用・所得環境は冷え込んだ状態が続いており、その下で個人消費は弱めの動きが続いている。県内経済は、持ち直しの動きは続いているものの、先行き警戒感が強まっている。</p>	
<b>観光・旅館業</b> 		秋季の伊豆地区の宿泊施設の状況は、期間を通じては概ね前年並みで推移したとみられる。年末年始の予約状況は地震の影響で低迷した前年と比較すると、同程度か増加とする施設が多い。
<b>紙類</b> 		再生紙物トイレットペーパーの価格は下落基調、原料古紙の価格も上昇しメーカーの経営を圧迫。段ボール原紙の市況は先行き不安が強まり、メーカーは減産や在庫調整を拡大。
	家庭紙  板紙 	
<b>水産業</b> 		静岡県主要漁港の水揚量は、マグロ類は増加したものの、いわし類、サバ類が振るわず前年実績を下回った。一方魚価は、マグロ類は低下したが、カツオ(冷凍)は前年並、その他魚種は値を上げ、魚種全体の平均単価は前年同期比1.7%上昇した。
<b>一般機械(主要)</b> 		金属工作機械は新興国向けの需要増から前年比プラスに転じる。金型は下げ止まりの兆しが伺えるも、中国勢との競争激化や円高などで先行きは不透明。
	金属工作機械  金型 	
<b>木材</b> 		県内新設住宅着工は大幅な増加、木造住宅着工戸数も回復。製材品県内生産量は住宅需要を背景に前年比増加が続く。一方で原料のうち国産材丸太の価格が強含みになっており、製材品価格への影響が今後注目される。
<b>缶詰</b> 		水産缶は主力のツナ缶が前年比▲7.5%減、店頭価格は夏以降横ばい。農畜産缶全体の生産量は前年比増加に転じ、主力のコーン缶価格は引続き安定。飲料缶類は残暑等の影響で生産が前年比大幅増となっている。
	水産缶詰  農畜産缶  飲料缶類 	
<b>楽器</b> 		主力のピアノは海外市場の需要回復により、引き続き生産台数・販売台数ともに増加。1月～11月の生産台数も10万台へ回復。電気・電子ピアノ、電子キーボードは好調な輸出に支えられ販売台数は大幅増。電子オルガンは輸出が堅調なるも、内需低迷を受け、販売台数は微減。
	ピアノ  電子楽器類 	

輸送用機器		 → 	遠州地域の二輪車生産台数は、国内向け、輸出向けともに増加し、全体で前年を大きく上回った。一方、自動車部品生産金額（県内）は、前年比プラスが続いているが、今後は、新車需要の大幅な落ち込みにより、部品メーカーの経営環境は厳しいと予想。	
	二輪車		自動車部品	
				
	明るい	やや明るい	停滞	やや不振
				不振

## 《産業別天気マークの推移》

明るい やや明るい 停滞 やや不振 不振

調査対象時期 (公表時期)	08/10 (08/12)	09/1 (09/3)	09/4 (09/6)	09/7 (09/9)	09/10 (09/12)	10/1 (10/3)	10/4 (10/6)	10/7 (10/9)	10/10 (10/12)
概　　況 	 					 			
観光・旅館業 	 				 				
紙　　類 	 								
水　　産 	 								
一般機械(主要) 		 			 				
木　　材 									
缶　　詰 	 								
樂　　器 	 					 			
輸送用機器 	 				 				